

みんなの居場所

前面の話題

みんなの居場所の裏面は、小学生にとって必要ではないかと思う問題、漢字、語、慣用句等々を載せていきます。ご家族の団らんの話題にしてみてください。会話を広がります。

令和7年5月2日(金)

G
W
後半

今年のGWは休みが飛
び飛ぶほど何か袋をしたよ
うな気分になつてこるの
は私だけでしょうか。わざ
いう意味で私の気持ち的
には留めたがGWです。
巷ではGW後半じつに
ひどい行楽地も豪客が入っ
てこないのであまり
に羽目を外すのがいと休
み明けが大変ですね。
わざわざ時間(の冗談)
じつの言葉をひい耳にし
ます。特に学生や新社会
人、部屋運動があつた人等
に起じるやすい心の不調
のひとつ。心の不調は誰
にでも起じる事なること
あります。私の場合の対策を少
しお書きしてみます。(①音楽を
聴く、②読書、③妻と外食
する、④美術館や博物館に行
く、⑤友人と食事に行く
く、⑥散歩する、⑦趣味に
没頭する...)書き出すとだ
んだんありますでこれが
の手で付けていいかわか
らないですね。今年は⑥や
⑦が最も合理的で実現し
やすいかわづかませてく
れ、⑧が絶対にやむなけれ
ばならない」との二つな
気がします。そんな人が多
いのです。

雜感

毎年「ホールドンワイヤー（GW）」前は、あれをしたいのをやめたい」と計画を立てる。自分のための時間を使おうといふのが、そもそも間違いなのかも知れない。GWの後半は「残りの時間は想てる樂しみか」。GWの夜は想て切り後悔する始末…。
これは何を意味しているのか? 答えてみた。詰まるといふと、時間の使い方が下手といつぱりはなしただけだ。確かにGWの中も仕事のことが頭から離れなかった。何をしても仕事のことを書いていた。これで働き方改革を伝えていかなければならぬ立場にあり、本末転倒と言われても得ない。確かに、学校現場は対応すべきことが多い。私の性格的な問題もあるかもしない。しかし、そんな風向きの事ばかり書いていては、働き方改革は前に進まないみたい。

卷之四

シリーズ「自分を語る」#7